



日本語が大変上手な李さん。このボードも李さんの手書きです。

佐世保の皆さん、アンニョンハセヨ。わたしはJETプログラム(語学指導などを行う外国青年招致事業)の選抜試験に合格し、去年から佐世保市の国際交流員として働いています。

月日が経つのは早いもので、佐世保での生活も2年目になりました。昨年1年間は国際親善都市の坡州市を含む韓国との交流事業や市民向けの韓国文化の出前講座、市職員向けの韓国語講座など、佐世保の皆さんに韓国を知って、分かって、楽しんでいただけたら幸いです。

佐世保弁勉強中! どがん勉強すればよかいですか?

韓国国際交流員 李載宇

にさまざまな活動を行いました。

特に記憶に残っているのは、早岐中学校の生徒たちと一緒に坡州市を訪問したこと(みんな、元気かな?)、そしてテコンドー体験教室で市民の皆さんと一緒に汗を流したことです。国際交流員としてだけでなく、人生の良い思い出です。

佐世保は自然がきれいで食べ物はおいしく、人も優しいので本当に住みやすい所です。町並みも好きで、暇なときには自転車であちこちを回っています。できるだけ長く、佐世保市の国際交流員として働きたいと思っています。

最近佐世保弁の特訓を始めました。

いやあ、きついです。

どがん勉強すればよかいですか?

ぜひ教えてください!

佐世保の皆さん、今年もジャルプタカムニタ(よろしく)お願いします!

国際政策課 ☎24・1111

恵アジ



「恵アジ」は九十九島近海で釣り上げられた天然のアジです。全て一本釣りで釣り上げられ、出荷するまで一切素手で触れません。出荷時に「活け」をすることで、高い鮮度が保たれた「恵アジ」は佐世保でしか味わえません。

「恵アジ」はその鮮度の良さから金色に輝き、市場でも際立った存在。夏から秋にかけて旬を迎え、脂が乗って食べごろになりますので、ぜひご賞味ください。

観光物産振興局 ☎24-1111

開設1周年! 市役所公式フェイスブックページ



市役所公式フェイスブックページは昨年8月に開設して以来、1年間で400本を超える情報を発信してきました。皆さんからいただいたたくさんの「いいね!」やコメント、「シェア(共有)」のおかげで、全国の自治体公式フェイスブックページの中でも、いいね数が多い人気ページとなりました。このページでは、市内の人や佐世保出身の人、訪れたことのある人など、「佐世保」というキーワードで集まった「人」と「情報」が行き交っています。今後も佐世保の魅力を発信していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

情報政策課 ☎24-1111

<http://www.facebook.com/sasebocity>

人の動き 7月1日 現在

- 総人口 257,086人(-388人)
男性 120,624人(-265人)
女性 136,462人(-123人)
- 世帯数 105,620世帯(-277世帯)
- ※6月中の動き
転入 460人、転出 800人
出生 167人、死亡 215人

させば市政だより

- テレビ (毎週土曜)
NBC・NIB→9時25分~30分
KTN・NCC→11時40分~45分
- ラジオ
NBC 日曜 9時25分~30分
FM長崎 火曜 9時5分~10分
FMさせば 火曜10時30分~35分
日曜 9時30分~35分
- 新聞 長崎新聞 毎月第2・4火曜
- ホームページ
<http://www.city.sasebo.nagasaki.jp/>



携帯サイト

重点政策への対応について③
~任期中間点における進捗状況~



5 地域医療再生、子ども発達センター再整備、交通不便地区対策など医療福祉政策の充実

①地域医療再生

- 平成24年4月、市立総合病院内に救命救急センターを開設。現在、病院敷地内に新センターを建設中で、26年4月に建物の供用を開始する予定です。



救命救急センター (イメージ図)

- 2次救急医療については、地域医療再生基金を活用した初期から2次救急までのモデル事業を実施しました。
- 住民啓発としては「救急医療体制について」の啓発チラシを全世帯に配布しました。
- 今後の取り組みとしては、救命救急センターの本格稼働前に、救急患者受け入れについてのルールづくりを行うとともに、救急搬送・受け入れの補完ツールとして応需システム導入検討を行い、初期から2次、3次までの救急医療体制の再構築を図ります。
- 佐世保市立看護専門学校と長崎県立佐世保看護学校との統合を図り、平瀬町の現在地に建て替えを行い、平成27年度に佐世保市立看護専門学校を、現在の学年定員40人から80人に増員して開校する予定です。

②子ども発達センター

- 栄・常盤再開発地区の常盤南ビルにおいて、本年9月に着工し、26年8月竣工、27年1月に名切町の現在地から移転し事業を開始する予定です。移転により子育て支援施設、福祉・医療施設としての設備面での充実が図られるほか、バス停に近く、また駐車場と一体化した建物であることから、利用者の利便性の向上が期待できます。

③交通不便地区対策の推進

- 平成24年3月から鹿町地区で予約型乗合タクシーによる社会実験を行いました(平成24年7月まで)。

※重点政策(全9項目)の残りの項目については、次号以降にお知らせします。

- 平成24年4月から大野地区で超小型バスによる社会実験を行いました(平成25年4月から本格運行開始)。
- 平成24年7月から世知原地区で予約型乗合タクシーによる社会実験を行いました(平成25年中の本格運行に向け準備中)。



本年4月から大野地区を本格運行している超小型バス(まめバス)。

6 基地問題への積極的な取り組み

①前畑弾薬庫の移転・返還の推進

- 針尾島弾薬集積所への移設に係る安全性の確保に必要な調査や弾薬庫の配置検討等が国の事業として推進されており、市としては地元負担の軽減を図るため、地域振興事業に取り組みました。
- 前畑崎辺道路の建設に係る前畑弾薬庫の一部先行返還を求めるとともに、本道路の早期着工を図るため、道路線形の一部を見直し、昨年12月、防衛省と協議を開始しました。

②崎辺地区LCAC基地跡地返還と潜水艦隊など

- 新たな部隊誘致による崎辺地区の利活用の推進
- 崎辺地区において暫定運用されていたLCACは、本年3月、米海軍横瀬貯油所LCAC施設への移転が完了しました。崎辺地区の利活用を具現化するものとして、海上自衛隊潜水艦隊群誘致を含めた新たな部隊の誘致と係留施設の早期整備を防衛省や海上自衛隊など関係機関に要請しました。

③みなとのすみ分け(米海軍、海上自衛隊、民間)の推進

- 新返還6項目のうち、「立神港区第3~5号岸壁の一部」の返還について、一昨年5月、旧軍港市国有財産処理審議会において、米国政府への返還要求並びに佐世保重工業株式会社への売り払いが承認され、本年6月、日米合同委員会において返還の合意がなされました。

佐世保市長 朝長 則男